

# Economic Indicators

発表日: 2021年9月1日(水)

## 2021年4-6月期GDP(2次速報値)予測

～前期比年率+1.5%と、1次速報から小幅上方修正を予想～

第一生命経済研究所

経済調査部長・首席エコノミスト 新家 義貴 (TEL: 03-5221-4528)

### 設備投資を主因に1次速報から上方修正を予想

9月8日に内閣府から公表される2021年4-6月期実質GDP(2次速報)を前期比年率+1.5%(前期比+0.4%)と、1次速報の前期比年率+1.3%(前期比+0.3%)から小幅上方修正されると予想する。本日公表された法人企業統計の結果を受けて、設備投資が上方修正されるとみられることが影響する見込みである。

もともと、修正幅自体は小さく、景気認識に変更を迫る結果にはならないとみられる。4-6月期はプラス成長とはいえ、1-3月期の落ち込みの半分も取り戻せない。1-3月期の反動の域を出ておらず、均してみれば21年前半の景気は低調な推移が継続していたとの評価が妥当だろう。

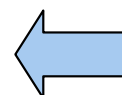
7-9月期も停滞感の強い状態が続くとみられる。感染者数の急増と緊急事態宣言の影響を受け、8-9月の個人消費は下振れる可能性が高い。輸出や設備投資の増加が下支えになるものの、消費の落ち込みが響くことで、7-9月期のGDP成長率はゼロ近傍にとどまると現時点で予想している。

### 2021年4-6月期GDP2次速報予測

	(%)
実質GDP	0.4
(前期比年率)	1.5
内需寄与度	0.7
(うち民需)	0.7
(うち公需)	0.0
外需寄与度	▲ 0.3
民間最終消費支出	0.8
民間住宅	2.1
民間企業設備	2.0
民間在庫変動(寄与度)	▲ 0.2
政府最終消費支出	0.5
公的固定資本形成	▲ 1.4
財貨・サービスの輸出	2.9
財貨・サービスの輸入	5.1

### 1次速報実績

	(%)
実質GDP	0.3
(前期比年率)	1.3
内需寄与度	0.6
(うち民需)	0.6
(うち公需)	0.0
外需寄与度	▲ 0.3
民間最終消費支出	0.8
民間住宅	2.1
民間企業設備	1.7
民間在庫変動(寄与度)	▲ 0.2
政府最終消費支出	0.5
公的固定資本形成	▲ 1.5
財貨・サービスの輸出	2.9
財貨・サービスの輸入	5.1



※断りの無い場合、前期比(%)

(出所)内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所

## 需要項目別の動向

実質設備投資は前期比+2.0%と、1次速報の+1.7%から上方修正を予想する。本日公表された21年4-6月期の法人企業統計では、名目設備投資（ソフトウェア除く）が前年比+3.6%（1-3月期：▲9.9%）と増加に転じ、季節調整値でも増加した。これにQE推計において実施されている法季のサンプル要因を除去するための断層調整や金融機関の設備投資の反映などを行えば、公表値より伸びは小さくなるものの、GDP設備投資の需要側推計値は1次速報から小幅上方修正となる見込みだ。1次速報段階で一部未公表だった6月分の結果の反映により供給側推計値も小幅上方修正されるとみられ、設備投資全体でも1次速報から上方修正される可能性が高い。

民間在庫変動は前期比寄与度で▲0.2%Ptと、1次速報から変化はないと予想する。2次速報では、1次速報で仮置きとなっていた仕掛品在庫と原材料在庫について本日公表された法人企業統計の結果が反映されるが、大きな変更はないとみられる。また、公共投資は前期比▲1.4%と、1次速報の▲1.5%から僅かに上方修正されると予想する。1次速報では未公表だった6月分の建設総合統計の結果が反映されることによるものである。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

